

# 行政視察（研修）報告書

【会派名：亀井博人】

行政視察 （研修）名	新人議員のための地方自治の基本	
会派・参加者名	無会派（参加者：亀井博人）	
期 日	令和7年5月5日（月） ～ 5月9日（金）	
① 調 査 項 目 及 び 内 容	日 時	5月5日(月)午前11時00分～9日(金)午後0時15分
	視察（研修）先	全国市町村国際文化研修研究所・国際文化アカデミー（滋賀県大津市） （人口 一人、 年 月現在、面積 一km <sup>2</sup> 、議員定数 一人）
	調査項目	地方自治の基本について
	調査概要	<b>説明者（講義）</b> 1日目 地方自治制度の基本 （同志社大学政策学部大学院総合政策科学研究科 野田遊教授） 地方議会制度について （全国市議会議長会企画議事部 篠田光洋副部長） 2日目 地方議会と自治体財政 （武庫川女子大学経営学部 金崎健太郎教授） 条例と政策の審査・立案、条例に関するグループ演習 （元衆議院法制局 吉田利宏参事） 3日目 これからの地方議員に期待されていること （慶応義塾大学法学部政治学科 谷口尚子教授）
質 疑 意見交換 所 感	<b>【質疑】</b> 質問はメールにより事前提出とされ、講義を聞いての質問の時間はほぼなかった。 講師の話が長く、質問の時間への配慮がなかった。  <b>【意見交換】</b> 意見交換というより、著名な方が講師となっており、意見交換というのも難しかった。  <b>【所感】</b>	

滋賀県大津市にある全国市町村国際文化研修研究所(国際文化アカデミー)において開催された「新人議員のための地方自治の基本」というだけあって、内容は広く網羅され充実していた。

対象は1期目の新人議員とされ、定員60名に対し大きく上回る132名の参加者がいた。参加者の平均年齢は52歳、20代～70代。女性は3割の参加とのこと。

滋賀県にあることから西日本の参加者が多くを占めた。東北からは私を含め2名。

1日目「地方自治制度の基本」では、(同志社大学 野田遊教授)が、財政力指数、今後の行政編成、伝え方を工夫も考えるという内容だった。

「地方議会制度について」では、(全国市議会議長会 篠田光洋副部長)が、市町村から寄せられる質問の多くが「発言取り消し」に関するものとのこと。

2日目「地方議会と自治体財政」では、(武庫川女子大学 金崎健太郎教授)が、

「条例と政策の審査・立案、条例に関するグループ演習」では、(元衆議院法制局 吉田利宏参事)が、講義の後、5～6名のグループに分かれ条例案の一部の作成を行い、どれが良いか競い合った。

3日目「これからの地方議員に期待されていること」では、(慶応義塾大学 谷口尚子教授)が、投票率、主権者教育、諸外国の状況、

なお、直近3回の衆議院選挙での都道府県別投票率が最も高いのは山形県で、その中でも金山町、大蔵村が高くなっている。

5月連休と大阪での万博とも重なり、大阪行きの飛行機もほぼ満員であった。JALが一日4便運航しているが時間帯、曜日、座席等により料金は大きく違っていた。山形空港の駐車場にも多くの駐車があった。

研修所までは時間も費用もかかり、最初で最後の機会であると思っている。



写真等

研修施設概観(後方は琵琶湖)



講義中の撮影は禁止とされていた



写真等



会議室・議場

写真等



会議室・議場

